

子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査について

平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画（以下「新計画」という。）」を来年度に策定するに当たり、第1回「京都市はぐくみ推進審議会（以下「審議会」という。）」において御報告しましたとおり、今年度中に標記の調査を実施することとしております。

この間、審議会に設置した各部会及び共同部会において、調査票の調査内容等について、貴重な御意見をいただいたところです。

本日は、それらの御意見等を踏まえ、調査票の事務局最終案を作成しましたので、提案いたします。

1 審議会等での主な意見と本市としての対応

審議会に設置した部会及び共同部会において頂戴した主な御意見と、それに対する本市としての対応の一例については以下のとおり。

※ 審議会における御意見と各調査の内容については、[別紙1-1](#)～[別紙6-2](#)参照

(1) 調査全体に対する意見等

○ 回収率の向上も考慮し、可能な限り平易な言葉を使用し、難しい言葉や回答者によって解釈が変わる言葉については、注釈を入れるべきではないか。

⇒ 可能な限り平易な言葉を使用し、回答者によって解釈が変わる言葉などの用語には注釈を入れた。

○ 「京都市子どもの生活状況等に関する調査（平成28年度実施）」の調査項目はどのように取扱い、どのように取りまとめていくのか。

⇒ 今回実施する各調査の調査項目に設問を設定し、結果を集計、分析することにより、前回の「京都市子どもの生活状況等に関する調査」の結果を捕捉する。

新計画の構成等については、審議会において、引き続き意見聴取を行いながら、検討していく。

(2) 個別の調査に対する意見等

○ 保護者の働くことに対するニーズを詳しく確認するべきではないか。

⇒ 働かれていない方やパートタイムで就労されている方のフルタイム就労への転換希望だけではなく、現在、フルタイムで就労されている方のパートタイム就労等への転換希望を確認する設問を新設するほか、集計や分析においても、保護者のニーズを確認できるよう工夫していく。

○ 小学生の放課後については、保護者が把握しきれない部分もあると思うので、児童の意見を聞く方法を検討すべきではないか。

⇒ 調査の依頼文に、保護者の方が子どもの意見を聞いたうえで回答していたきたい旨のお願いの文章を追加するとともに、自由記述欄に実際に子どもに意見を聞いて記載いただく設問を追加する。

2 今後の予定

| | | |
|-------|-------|-------------------|
| 平成30年 | 7月下旬 | 調査票の確定 |
| | 8月上旬 | 印刷開始 |
| | 9月上旬 | 調査開始 |
| | 10月上旬 | 調査終了 |
| 平成31年 | 3月下旬 | 調査の取りまとめ結果の公表（予定） |

【参考：各調査の内容等について】

平成30年度に実施する調査内容については、以下のとおり、前回までの調査との継続性を考慮しつつ、調査対象者が重複する調査について統合するとともに、小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査を新たに実施する（参考資料1～参考資料3参照）。

1 前回の調査をベースに実施する調査について

- (1) 子育て支援に関する市民ニーズ調査
- (2) 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査
- (3) ひとり親家庭に関する実態調査
- (4) 母子保健に関する意識調査

2 見直しを行い実施する調査について

- (5) 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査

3 新たに実施する調査等について

- (6) 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査

【添付資料について】

《各調査の内容等》

| | |
|-------|--------------------------------|
| 別紙1-1 | 子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童の保護者） |
| 別紙1-2 | 子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学生の保護者） |
| 別紙2 | 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査 |
| 別紙3 | ひとり親家庭に関する実態調査 |
| 別紙4 | 母子保健に関する意識調査 |
| 別紙5 | 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査 |
| 別紙6-1 | 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（市立小学校） |
| 別紙6-2 | 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（総合支援学校） |

《各調査の調査票（案）》

| | |
|--------|----------------------------------|
| 調査票1-1 | 子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童の保護者） |
| 調査票1-2 | 子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学生の保護者） |
| 調査票2 | 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査 |
| 調査票3 | ひとり親家庭に関する実態調査 |
| 調査票4 | 母子保健に関する意識調査 |
| 調査票5-1 | 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査 |
| 調査票5-2 | 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査（保護者用） |
| 調査票6-1 | 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（市立小学校） |
| 調査票6-2 | 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（総合支援学校） |

《参考資料》

| | |
|-------|------------------------|
| 参考資料1 | 新計画の策定に向けた調査（前回調査との比較） |
| 参考資料2 | 新計画の策定に向けた調査一覧 |
| 参考資料3 | 新計画の策定に向けた調査（対象年齢での比較） |

子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童の保護者）（案）

1 目的

子育て支援施策に係る市民ニーズを把握し、「京都市子ども・子育て支援事業計画」策定をはじめ、今後の子育て支援施策の今後の方向性を検討する基礎資料とする。

2 対象

市内在住の小学校入学前児童の保護者（6, 500件）

3 方法

無作為抽出を行い、調査票を郵送

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

○ 幼保推進部会

平成30年6月26日開催

○ 子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会

※ 以下の理由により部会が開催できなかったため、部会委員から個別に意見聴取

・平成30年6月18日 地震により中止

・平成30年7月 6日 大雨により中止

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

○ 幼保推進部会

・ 対象児童の両親の就労を問う設問で、フルタイムへの転換希望を確認するところがあるが、フルタイムの人がパートタイムに転換する選択肢がないと、共働き前提の設問になってしまうのではないか。

・ 回答者が分かりやすいように「働き方改革」等の分かりにくい内容について、注釈を入れるべきではないか。

○ 子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会（個別に意見聴取）

・ 子ども・子育て支援事業計画の量の見込みの検討に必要なため、サービス利用に関する質問が多くなるのは仕方ないが、なるべく回答者の負担感が少なくなるよう設問数を減らしたり、調査票のレイアウトを工夫するようなことをするべきではないか。

5 調査項目

次ページ参照

6 調査票

調査票 1 - 1 参照

子育て支援に関する市民ニーズ調査(小学校入学前児童の保護者)(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|---------------------------|------------------------|--|-----------------|
| | 番号 | | |
| 子どもと家族の状況 | 問1 | 宛名の子どもの生年月 | |
| | 問2 | 居住している地域(行政区等) | |
| | 問3 | 家族・子どもの数 | |
| | 問4 | 回答者の続柄 | |
| | 問5-1 | 同居・近居の状況 | |
| | 問5-2 | 父母の年齢 | |
| | 問6 | 看護・介護等が必要な家族 | |
| | 問7 | 世帯の1年間の可処分所得 | |
| | 問8-1 | 子育てにかかる時間の優先度 | 修正 |
| | 問8-2 | 子育てにかかるお金の優先度 | 修正 |
| | 問8-3 | 子育てにかかる費用 | |
| | 問9-1 | 子どもを預けることができる親族・知人の有無 | |
| | 問9-2 | 親族に子どもを預けるに当たって心配な点 | |
| | 問9-3 | 知人に子どもを預けるに当たって心配な点 | |
| 問10 | 育児や家事等に主に関わっている者 | | |
| 父母の就労状況 | 問11-1 | 父母の就労状況 | |
| | 問11-2 | フルタイムまたはパートタイムへの転換希望 | 追加 |
| | 問11-3 | 就労していない理由(父母別) | |
| | 問11-4 | 未就労の父母の就労希望 | |
| 平日の幼稚園・保育施設等の利用 | 問12-1 | 平日の幼稚園・保育施設等の利用の有無 | |
| | 問12-2 | 利用している幼稚園・保育施設等の種類及び利用量(現状と希望) | |
| | 問12-3 | 働き方改革が浸透し、働き方が変わった場合に利用したい施設 | |
| | 問12-4 | 働き方改革が浸透し、働き方が変わった場合の施設の利用希望時間 | |
| | 問12-5 | 幼稚園・保育施設等を利用していない理由 | |
| | 問12-6 | 幼稚園利用者の長期休暇中の幼稚園・保育施設等の利用希望の有無及び利用希望回数等 | |
| | 問12-7 | 長期休暇中に幼稚園・保育施設等の利用を希望する理由 | |
| | 問12-8 | 長期休暇中に幼稚園・保育施設等の実際の利用時間と希望する利用時間 | |
| | 問13-1 | 定期的に利用したい幼稚園・保育施設等の種類 | |
| | 問13-2 | 幼稚園・保育施設等を利用したい理由 | |
| 問13-3 | 幼稚園・保育施設等を選択する際に重視する事項 | | |
| 土曜日・日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望 | 問14-1 | 土曜日及び日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望の有無及び利用希望回数等 | |
| | 問14-2 | 土曜日、日曜日・祝日に幼稚園・保育施設等の利用を希望する理由 | |
| 病気・病後時の対応 | 問15-1 | 子どもの病気やけがで幼稚園・保育施設を利用できなかったことの有無 | |
| | 問15-2 | 子どもの病気やけがで幼稚園・保育施設を利用できなかった場合の対応方法及びその日数 | |
| | 問15-3 | 病児・病後児のための保育施設の利用希望及びその日数 | |
| | 問15-4 | 病児・病後児のための事業の要望 | |
| | 問15-5 | 病児・病後児のための事業を利用しなかった理由 | |
| | 問15-6 | 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由 | |
| 宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用 | 問16-1 | 保護者の私用、通院、不規則の就労等を理由とした、宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の利用の有無及びその日数 | |
| | 問16-2 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等を利用していない理由 | |
| | 問17-1 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の利用希望の有無及び利用希望日数 | |
| | 問17-2 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の要望 | |
| 宿泊を伴う一時預かりの利用 | 問18-1 | 保護者の用事(冠婚葬祭、病気等)により、家族以外の者に泊りがけで預ける必要が生じたことの有無 | |
| | 問18-2 | 家族以外の者に泊りがけで預ける必要が生じた日数(対処方法別) | |
| | 問18-3 | 親族・知人に預けた場合の対応の困難度 | |
| 地域の子育て支援のための事業の利用 | 問19-1 | 地域の子育て支援のための事業(つどいの広場等)の認知度、利用状況及び利用回数・利用希望回数 | |
| | 問19-2 | 地域の子育て支援のための事業(つどいの広場等)を利用していない理由 | |
| | 問19-3 | 地域の子育て支援のための事業(つどいの広場等)の利用希望 | |
| | 問20-1 | 児童館の利用の有無 | |
| | 問20-2 | 児童館の利用目的 | |
| | 問20-3 | 児童館を利用していない理由 | |
| | 問20-4 | 児童館に期待すること | |
| | 問21-1 | ファミリーサポート事業の利用の有無 | |
| | 問21-2 | ファミリーサポート事業の利用目的 | |
| | 問21-3 | ファミリーサポート事業の利用回数及び利用希望回数 | |
| | 問21-4 | ファミリーサポート事業を利用していない理由 | |
| 問21-5 | ファミリーサポート事業の今後の利用希望 | | |
| | | 子ども・子育て支援に関する事業・施設の認知度、利用状況及び今後の利用希望 | 削除 |

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-----------------|--|--|-----------------|
| | 番号 | | |
| 小学校入学後の放課後の過ごし方 | 問22 | 放課後の時間を過ごさせたい場所及びその日数（低学年・高学年別） | |
| | 問23 | 土曜日、日曜日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望の有無及び利用したい時間帯 | |
| 職場の両立支援制度 | 問24-1 | 父母の育児休業の取得状況、職場復帰の有無、短時間勤務制度利用の有無及び育児休業取得中の離職の有無 | |
| | 問24-2 | 育児休業を取得していない理由 | |
| | | 子どもが1歳になるまで育児休業を取得することに関する意向 | 削除 |
| | | 職場復帰のタイミング | 削除 |
| | | 職場復帰の実際の時期と希望していた時期（子どもの年齢で回答） | 削除 |
| | | 希望の時期よりも早く又は遅く職場復帰した理由 | 削除 |
| | 問24-3 | 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由 | |
| | 問24-4 | 育児休業取得時に父母が離職した理由 | |
| | 就労している企業等に子どもが3歳になるまで育児休業を取得する制度がある場合に当該休暇の取得を希望する期間 | 削除 | |
| その他子育てに関すること | 問25 | 子育てをしている今の気持ち | |
| | 問26 | 子育てをしていて「楽しい」「良かった」と感じること | |
| | 問27 | 子育てをしていて日頃不安に感じること | |
| | 問28 | 子育てをしていて日頃感じる不安や悩みを相談する機関・人 | |
| | 問29 | 子どもと遊ぶ機会等の頻度 | |
| | 問30 | 父親が子育てに関わりが少ない理由 | |
| | 問31 | 子育てと仕事の両立を支援するために社会全体で取り組んでほしい制度や支援策 | |
| | 問32-1 | 朝食・夕食を食べる頻度 | |
| | 問32-2 | 朝食・夕食を一緒に食べる人 | 追加 |
| | 問33-1 | 家庭での料理の頻度 | |
| | 問33-2 | 夕食の内容 | |
| | 問34 | かかりつけ医の有無 | |
| | 問35 | 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関の認知度 | |
| | 問36-1 | 子育てに関して知りたい情報 | |
| | 問36-2 | 子育てに関する情報の入手方法 | |
| | 問37 | 子育て仲間の有無 | |
| | 問38-1 | 子育てサークル等への参加の有無 | |
| | 問38-2 | 子育てサークル等の活動をしていくに当たって行政や地域に行ってほしい支援 | |
| | 問38-3 | 子育てサークル等に参加していない理由 | |
| | 問39 | 子育てについて近所や地域の人々に支えられている実感はあるか | 追加 |
| | 問40 | 子育てに関して近所や地域の人々に期待すること | |
| | 問41 | 平日の日中に子どもを遊ばせる場所 | |
| | 問42-1 | 子どもとの外出する際の移動手段 | |
| | 問42-2 | 子どもとの外出する際の平均的な移動距離 | |
| | 問43 | 子どもとの外出時に困ること | |
| | 問44 | 「子どもを共に育む京都市民憲章」の認知度 | |
| | 問45 | 京都市が子どもにとって住みやすいと感じるか | 追加 |
| | 問46 | 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか | 追加 |
| | 問47 | 子どもを健やかに育てるために行政に期待すること | |
| 問48 | 京都市の子ども・子育て支援に関する住民実感 | | |
| 問49 | 行政施策や社会制度のあり方に関する希望及び意見（自由記述） | | |

子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学生の保護者）（案）

1 目的

子育て支援施策に係る市民ニーズを把握し、「京都市子ども・子育て支援事業計画」策定をはじめ、今後の子育て支援施策の今後の方向性を検討する基礎資料とする。

2 対象

市内在住の小学生の保護者（6, 500件）

3 方法

無作為抽出を行い、調査票を郵送

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会

※ 以下の理由により部会が開催できなかつたため、部会委員から個別に意見聴取

- ・平成30年6月18日 地震により中止
- ・平成30年7月 6日 大雨により中止

(2) 上記部会等における委員からの主な意見（個別に意見聴取）

- ・ 子育てにかける「時間」と「お金」の優先度を確認する設問にあつては、「時間」と「お金」を一括りにするのではなく、分けて確認するべきではないか。
- ・ 子ども・子育て支援事業計画の量の見込みの検討に必要なため、サービス利用に関する質問が多くなるのは仕方ないが、なるべく回答者の負担感が少なくなるよう設問数を減らしたり、調査票のレイアウトを工夫するようなことをするべきではないか。

5 調査項目（案）

次ページ参照

6 調査票（案）

調査票 1 - 2 参照

子育て支援に関する市民ニーズ調査(小学生の保護者)(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|--------------------|-------------------------------|--|------------------------|
| | 番号 | | |
| 子どもと家族の状況 | 問1 | 宛名の子どもの生年月 | |
| | 問2 | 居住している地域(行政区等) | |
| | 問3 | 家族・子どもの数 | |
| | 問4 | 回答者の続柄 | |
| | 問5-1 | 同居・近居の状況 | |
| | 問5-2 | 父母の年齢 | |
| | 問6 | 看護・介護等が必要な家族 | |
| | 問7 | 世帯の1年間の可処分所得 | |
| | 問8-1 | 子育てにかかるお金の優先度 | 修正 |
| | 問8-2 | 子育てにかかる時間の優先度 | 修正 |
| 父母の就労状況 | 問8-3 | 子育てにかかる費用 | |
| | 問9-1 | 子どもを預けることができる親族・知人の有無 | |
| | 問9-2 | 親族に子どもを預けるに当たって心配な点 | |
| | 問9-3 | 知人に子どもを預けるに当たって心配な点 | |
| | 問10 | 育児や家事等に主に関わっている者 | |
| | 問11-1 | 父母の就労状況 | |
| | 問11-2 | フルタイムまたはパートタイムへの転換希望 | 追加 |
| | 問11-3 | 就労していない理由(父母別) | |
| | 問11-4 | 未就労の父母の就労希望 | |
| | 子どもの状況 | 問12 | 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動への参加 |
| 問13 | | 学校等での成績の状況 | |
| 病気・病後時の対応 | 問14 | 子どもの自己肯定感 | |
| | 問15-1 | 子どもの病気やけがで学校を休まなければならなかったことの有無 | |
| | 問15-2 | 子どもの病気やけがで学校を休まなければならなかった場合の対応方法及びその日数 | |
| | 問15-3 | 子どもの病気やけがで学校を休まなければならなかったときの施設の利用希望及びその日数 | |
| | 問15-4 | 病児・病後児のための事業の要望 | |
| | 問15-5 | 病児・病後児のための事業を利用しなかった理由 | |
| 宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用 | 問15-6 | 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由 | |
| | 問16-1 | 保護者の私用、通院、不定期の就労等を理由とした、宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の利用の有無及びその日数 | |
| | 問16-2 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等を利用していない理由 | |
| | 問17-1 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の利用希望の有無及び利用希望日数 | |
| 宿泊を伴う一時預かりの利用 | 問17-2 | 宿泊を伴わない日中の一時預かり事業等の要望 | |
| | 問18-1 | 保護者の用事(冠婚葬祭、病気等)により、家族以外の者に泊りがけて預ける必要が生じたことの有無 | |
| | 問18-2 | 家族以外の者に泊りがけて預ける必要が生じた日数(対処方法別) | |
| 地域の子育て支援のための事業の利用 | 問18-3 | 親族・知人に預けた場合の対応の困難度 | |
| | | 子育て支援施策・サービスの認知度、利用状況及び利用希望 | 削除 |
| ファミリーサポート事業の利用 | 問19-1 | ファミリーサポート事業の利用の有無 | |
| | 問19-2 | ファミリーサポート事業の利用目的 | |
| | 問19-3 | ファミリーサポート事業の利用頻度・利用希望回数 | |
| | 問19-4 | ファミリーサポート事業を利用していない理由 | |
| | 問19-5 | ファミリーサポート事業の今後の利用希望(未利用者向け設問) | |
| その他子育てに関すること | 問20 | 子育てをしている今の気持ち | |
| | 問21 | 子育てをされていて「楽しい」「良かった」と感じること | |
| | 問22 | 子育てをされていて日頃不安に感じること | |
| | 問23 | 子育てをされていて日頃感じる不安や悩みを相談する機関・人 | |
| | 問24 | 子どもと遊ぶ機会、勉強を教える機会の頻度 | 追加 |
| | 問25 | 父親が子育てに関わりが少ない理由 | |
| | 問26 | 子育てと仕事の両立を支援するために社会全体で取り組んでほしい制度や支援策 | |
| | 問27-1 | 朝食・夕食を食べる頻度 | |
| | 問27-2 | 朝食・夕食を一緒に食べる人 | 追加 |
| | 問28-1 | 家庭での料理の頻度 | |
| | 問28-2 | 夕食の内容 | |
| | 問29 | かかりつけ医の有無 | |
| | 問30 | 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関の認知度 | |
| | 問31 | 子育てに関する情報の入手方法 | 追加 |
| | 問32-1 | 地域が実施する子育て世帯向け事業への参加状況 | |
| | 問32-2 | 今後子どもに参加させたい地域が実施する子育て世帯向け事業(運営主体) | |
| | 問32-3 | 今後子どもに参加させたい地域が実施する子育て世帯向け事業(内容) | |
| | 問33 | 子育てについて近所や地域の人々に支えられている実感はあるか | 追加 |
| | 問34 | 子育てに関して近所や地域の人々に期待すること | 追加 |
| | 問35 | 「子どもを共に育む京都市民憲章」の認知度 | |
| 問36 | 京都市が子どもにとって住みやすいと感じるか | 追加 | |
| 問37 | 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか | 追加 | |
| 問38 | 子どもを健やかに育てるために行政に期待すること | | |
| 問39 | 京都市の子ども・子育て支援に関する住民実感 | | |
| 問40 | 行政施策や社会制度のあり方に関する希望及び意見(自由記述) | | |

家族や家庭生活のあり方に関する意識調査（案）

1 目的

結婚，出産，働き方改革，真のワーク・ライフ・バランス等，広く家族や家庭生活に係る市民の意識を把握することを目的に調査を実施する。

2 対象

市内在住の18歳から49歳までの市民（6，500件）

3 方法

無作為抽出を行い，調査票を郵送

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会

※ 以下の理由により部会が開催できなかつたため，部会委員から個別に意見聴取

・平成30年6月18日 地震により中止

・平成30年7月 6日 大雨により中止

(2) 上記部会等における委員からの主な意見（個別に意見聴取）

- ・ 少子化問題はまったなしの状況であることから，市民の方の意識をしっかりと把握できる調査にしてもらいたい。
- ・ 出産に関する設問について，子どもが欲しくて不妊治療を受けている人も回答できるような選択肢を検討するべきではないか。
- ・ 結婚や出産，家族のあり方についても多様性が求められる時代であることから，この調査票についても，パートナーといった言葉を使用していくべきではないか。

5 調査項目

次ページ参照

6 調査票

調査票2参照

家族や家庭生活のあり方に関する意識調査(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| | 番号 | | |
| 基本事項 | 問1 | 性別、年齢 | |
| | 問2 | 居住区 | |
| | 問3 | 職業 | |
| | 問4 | 最終学歴 | |
| | 問5-1 | 今までの学習状況（親との学習機会、塾等） | |
| | 問5-2 | 小中高生のころの通塾状況 | |
| | 問5-3 | 学生時代の文化芸術活動、自然体験、スポーツ活動の機会の有無 | |
| | 問5-4 | 学校等での学習状況（成績など） | |
| | 問6 | 世帯の1年間の可処分所得 | |
| | 問7 | 同居家族の職業・年齢・健康状態 | |
| 問8 | 子どもの時に同居していた家族 | 修正 | |
| 問9 | 子どもの時の親・保護者との関わり（遊ぶ機会） | | |
| 問10 | 子どもの時の親・保護者との関わり（食事の機会） | | |
| 少子化について | 問11 | 少子化が社会に与える影響 | |
| | 問12 | 出生率が低い原因 | |
| | 問13 | 出生率の上昇が必要と考えるか | |
| | 問14-1 | 少子化対策として効果ある取組・施策について | 修正 |
| 問14-2 | 少子化対策として効果ある取組について | 修正 | |
| 結婚について | 問15-1 | 結婚の有無 | |
| | 問15-2 | 結婚相手とどのように知り合ったか | 追加 |
| | 問15-3 | 結婚を決めた直接のきっかけ | 追加 |
| | 問15-4 | 結婚後の新生活で困ったことは | 追加 |
| | 問15-5 | 将来の結婚願望 | |
| | 問15-6 | 結婚したい年齢 | |
| | 問15-7 | 結婚しない理由 | |
| | 問16-1 | 結婚生活に利点があると思うか | |
| | 問16-2 | 具体的な利点は何か | |
| | 問17-1 | 独身生活に利点があると思うか | |
| | 問17-2 | 具体的な利点は何か | |
| | 問18 | 独身生活を続けるとした場合の心配や不安 | |
| | 問19 | 結婚するとした場合の心配や不安 | |
| | 問20 | 結婚することで失いたくないものは何か | |
| 問21 | 家庭や家族に関する考え方 | | |
| 問22 | 生き方のタイプ | | |
| 問23 | 未婚や晩婚が増えている理由 | | |
| 問24 | 行政が結婚する機会を増やす支援を行うことについてどう思うか | | |
| 問25 | 行政が実施することが望ましい施策 | | |
| 出産について | 問26-1 | 子どもの人数（現実） | |
| | 問26-2 | 子どもの人数（予定） | 追加 |
| | 問27 | 子どもの人数（理想） | |
| | 問28 | 理想と現実の比較 | |
| | 問29-1 | 子どもを持たない理由 | 修正 |
| | 問29-2 | 理想の数との差の理由 | 修正 |
| | 問30 | 理想の子どもを持つために必要なこと | |
| | 問31 | 理想の子ども数が2人以上の理由（問27で2人以上と答えた人のみ） | 追加 |
| 問32-1 | 出産後の実家との関わり方 | | |
| 問32-2 | 具体的な距離 | | |
| 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現について | 問33 | 「真のワーク・ライフ・バランス」について知っていたか | |
| | 問34-1 | 仕事と生活の調和が図れていると思うか | |
| | 問34-2 | 図れていない理由 | |
| | 問35-1 | 子育てと介護の状況 | 追加 |
| | 問35-2 | 子育てに関する負担感 | 追加 |
| | 問35-3 | 介護に関する負担感 | 追加 |
| | 問35-4 | 【子どもがいる場合】子どもとの時間（遊びや勉強）は確保できているか | |
| | 問35-5 | 確保できない理由 | 追加 |
| | 問36 | 結婚前後の仕事の状況変化 | |
| | 問37-1 | 出産による退職の有無 | |
| | 問37-2 | 退職した理由 | |
| | 問37-3 | 再就職の有無 | |
| | 問37-4 | 再就職のきっかけは | |
| | 問37-5 | 出産を機に退職する予定は | |
| 問37-6 | 出産を機に退職する理由 | | |
| 問38 | 仕事と生活の調和のために企業等に組み込んで欲しいこと | | |
| 問39 | 仕事と生活の調和を積極的に推進する企業等についてどう思うか | | |
| 問40 | 仕事と生活の調和のために行政に期待すること | | |
| その他 | 問41-1 | 結婚や出産後に京都市に住み続けたいと思うか。 | |
| | 問41-2 | そう思う理由（自由記述） | |
| | 問42 | 行政施策や社会制度のあり方に関する希望及び意見（自由記述） | |

ひとり親家庭に関する実態調査（案）

1 目的

ひとり親家庭の、所得を含む世帯の状況や育児・教育の状況、離婚後の養育費や面会交流の状況などを調査するとともに、既存の福祉施策の認知状況や利用状況、潜在的なニーズ及び要望を把握し、主に「京都市ひとり親家庭自立促進計画」策定に係る基礎資料とする。

2 対象

市内在住の母子世帯（3, 700件）

〃 父子世帯（1, 300件）

3 方法

無作為抽出を行い、調査票を郵送

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

○ ひとり親家庭支援部会

第1回会議 平成30年6月15日開催

第2回会議 平成30年7月19日開催

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

- ・ 就労に関する設問について、回答の選択肢が現代の職業分類に合わないため、日本標準職業分類（総務省）に準拠したものに変更するべきではないか。
- ・ 資格や技能の習得状況や今後の習得希望について、選択肢を精査し、現代に合った内容に変更するべきではないか。
- ・ ひとり親家庭に対する調査については、回答者である子どもの親は、なかなか回答する余裕がないので、なるべく設問は少ない方が良くはないか。
- ・ 日々、仕事や育児で苦勞されていると思うので、親に対し、「気持ちに余裕があるか」、「健康かどうか」など、母親の心身の状態を確認するような質問が必要ではないか。

5 調査項目

次ページ参照

6 調査票

調査票 3 参照

ひとり親家庭に関する実態調査(案)

| | 番号 | 調査項目 | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-----------------|-----------------|---|------------------|
| | 基本事項 | 問1 | 母子家庭又は父子家庭に該当するか |
| 問2 | | 生年月 | |
| 問3 | | 子どもの年齢 | |
| 問4 | | 同居家族の人数 | |
| | | 家事分担 | 削除 |
| 問5 | | 誰と一緒に暮らしているか | 追加 |
| 問6 | | 回答者の気持ちや身体の状態 | 追加 |
| | 問7 | 回答者の最終学歴 | 追加 |
| ひとり親家庭になったときの状況 | 問8 | ひとり親家庭になった年齢 | |
| | 問9 | 前配偶者との婚姻期間 | |
| | 問10-1 | ひとり親家庭になった理由 | |
| | 問10-2 | 離婚を決意した主たる要因 | |
| | 問11-1 | ひとり親家庭になったとき仕事をしていただけ | |
| | 問11-2 | 仕事をやめた理由 | |
| 仕事の状況 | 問12-1 | 現在の仕事 | |
| | 問12-2 | 現在の仕事についている年数 | |
| | 問12-3 | 就労形態 | |
| | 問12-4 | 仕事の種類 | |
| | 問12-5 | 勤務先の規模 | |
| | 問12-6 | 平均的な勤務時間と帰宅時間 | |
| | 問12-7 | 仕事上の悩み | |
| | 問12-8 | 転職希望 | |
| | 問12-9 ア | 転職先の就労形態 | |
| | 問12-9 イ | 転職先の職種 | |
| | 問13-1 | 仕事をしていない理由 | |
| | 問13-2 | 今後の就職希望 | |
| | 問13-3 ア | 就職希望先の就労形態 | |
| | 問13-3 イ | 就職希望先の職種 | |
| 問13-3 ウ | 就職先を探す手段 | 追加 | |
| 問14 | 現在持っている資格・技能 | | |
| 住まいの状況 | 問15 | 住宅の種類 | |
| | 問16 | ひとり親家庭になる前からの住宅かどうか | |
| | 問17 | 公営住宅への転居希望の有無 | |
| 世帯収入と生活費の状況 | 問18 | 世帯収入の状況 | |
| | 問19 | 年額の世帯総収入及び可処分所得、あなた自身の総収入及び就労収入 | |
| | 問20 | 世帯の月平均の生活費 | |
| | 問21 | 生活費の中で特に支出額が多いもの | |
| 離婚の状況 | 問22 | 養育費の取り決めの有無 | |
| | 問23-1 | 養育費の支払いは取り決めどおりに行われているか | |
| | 問23-2 | 養育費の月額 | |
| | 問24 | 面会交流の取り決めの有無 | |
| | 問25-1 | 面会交流の状況 | |
| | 問25-2 | 面会交流の頻度 | |
| | 問26 | ひとり親家庭になった直後の気持ち | |
| | 問27 | ひとり親家庭になった直後の生活状況 | |
| 育児・教育について | 問28 | 子どもの進学についての希望 | |
| | 問29 | 子どもに関する悩み | |
| | 問30 | 【就学前児童がいる方】子どもの世話を主にする人は誰か | |
| | 問31 | 【小学校1年生～3年生がいる方】放課後、長期休業中に子どもの世話をするのは誰か | |
| | 問32 | 【小学校4年生～6年生がいる方】放課後、長期休業中に子どもの世話をするのは誰か | |
| | 問33 | 塾や習い事に行っているか | |
| | 問34 | 塾や習い事の内容 | |
| | 問35-1 | 生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援の認知状況 | |
| | 問35-2 | 学習支援の利用状況 | |
| | 問35-3 | 学習支援の利用希望 | |
| 問35-4 | 学習支援の利用を希望しない理由 | | |
| 問36 | 子どもの学校での勉強の成績 | | |

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-------------------|---------------|-----------------------------------|-----------------|
| | 番号 | | |
| 育児・教育について | 問37 | 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会の有無 | |
| | 問38-1 | 子どもに勉強を教える機会の有無 | |
| | 問38-2 | 教える機会が無い理由 | 追加 |
| | 問39 | 子どもの自己肯定感 | |
| | 問40-1 | 朝食・夕食を食べる頻度 | |
| | 問40-2 | 朝食・夕食を一緒に食べる人 | 追加 |
| | 問41 | 子どもと遊ぶ機会等の頻度 | |
| | 問42-1 | 子どもの夕食をつくる（料理をする）頻度 | |
| | 問42-2 | 料理・外食等の状況 | |
| | 問43-1 | 子育てにかかる時間の優先度 | 修正 |
| 問43-2 | 子育てにかかるお金の優先度 | 修正 | |
| 子どもや近所の人等との関係について | 問44 | 家族・親戚以外で、日頃から子どもを見てもらえる人がいるか | |
| 日頃の悩みや相談 | 問45 | ひとり親家庭になった当時及び現在困ったこと | |
| | 問46 | ひとり親家庭になった当時及び現在困ったときに相談する人 | |
| | 問47 | 悩み事などを相談された行政機関 | |
| | 問48-1 | ひとり親家庭支援施策の利用の有無等 | |
| | 問48-2 | ひとり親家庭支援施策以外の福祉施策の利用の有無等 | |
| | 問49-1 | 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすを知っているか | |
| | 問49-2 | ゆめあすの事業を知っているか | |
| | 問49-3 | ゆめあすでのイベント等に参加したいか | |
| | 問49-4 | 必要としない理由 | |
| | 問50 | 住民実感 | |
| | 問51 | 子育てに関して近所や地域の人々に期待すること | 追加 |
| | 問52 | 市や国に要望したいこと | |
| | 問53 | 要望したいことについて特に望むことや意見（自由記述） | |
| | 問54 | 苦しい時やつらい時を乗り越える、気持ちを切り替える手段（自由記述） | 修正 |

母子保健に関する意識調査（案）

1 目的

乳幼児の子育てをしている母親を対象に調査をすることで、妊娠・出産・子育てを取り巻く状況や環境の変化を把握し、「京都市母子保健計画」策定に係る基礎資料とする。

2 対象

一定期間に乳幼児健康診査（4か月児，8か月児，1歳6か月児，3歳児）を受診した児童の母親（約4，000件）

3 方法

乳幼児健康診査で来庁した際に調査票を手渡し，郵送で回収

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

- 親子いきいき保健部会
平成30年6月21日開催

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

- ・ 保護者のストレスや育児疲れについても状況を把握できる設問があると良い。
- ・ 「妊娠中に知っておいたら困らなかったこと，役立ったこと」を問う設問があれば，今後のプレママ・パパ教室などに役立てられるのではないか。
- ・ アレルギーの子どもが多くなってきているので，実態把握のために，設問を設けてはどうか。
- ・ よくお母さんたちから聞く悩みで，「寝つきが悪い・寝かせつけ」，「夜泣」，「母親自身のこと（自分の時間が持てない，精神的な不安がある等）」の相談を受けることがあるので，そのような状況を把握できる設問が必要ではないか。
- ・ 子どもの食事に注目されがちであるが，母親自身や家族の食事の栄養状況を気にしているかを把握する設問が必要ではないか。

5 調査項目（案）

次ページ参照

6 調査票（案）

調査票 4 参照

母子保健に関する意識調査(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-------------------|---------------------------|--------------------------------|-----------------|
| | 番号 | | |
| 基本事項 | 問1 | 母親の年齢 | |
| | 問2 | 居住している地域（行政区等） | |
| | 問3 | 健診を受けた子どもの兄弟数等 | |
| | 問4-1 | 就労状況 | |
| | 問4-2 | 就労形態 | |
| | 問5 | 世帯の1年分の可処分所得 | |
| | 問6-1 | 子育てにかかる時間の優先度 | 修正 |
| | 問6-2 | 子育てにかかるお金の優先度 | 修正 |
| | 問7 | 心身の状況 | |
| 妊娠・出産 | 問8-1 | 不妊について悩んだことの有無 | |
| | 問8-2 | 不妊に関する悩みの相談先 | |
| | 問9-1 | 妊娠中の妊娠・出産・育児に関する心配や不安の有無 | |
| | 問9-2 | 妊娠や出産の悩みや不安の相談先 | |
| | 問10 | 妊娠中と産後1か月間の精神的落ち込みやイライラの有無 | |
| | 問11 | 妊娠や出産・子育てに関して、妊娠中に知っておくとよかったこと | 追加 |
| | 問12-1 | 育児期間中の家族や公的なサポートについて満足しているか | 修正 |
| | 問12-2 | 満足していない理由 | 修正 |
| | 問13-1 | 育児期間中で特に悩みや不安が大きかった時期 | |
| | 問13-2 | 悩みや不安の内容 | |
| | 問13-3 | 悩みや不安の相談先 | |
| | 問14 | ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無 | |
| | 問15 | 子どもを育てにくいと感じることの有無 | |
| | 問16 | 父親の育児参加の有無 | |
| | 問17 | 父親の育児参加の具体的な内容 | |
| | 問18 | 父親にしてもらいたい育児の具体的な内容 | |
| | 問19 | 父親が母親の精神的支えになっているかどうかの認識 | |
| | 問20-1 | 子どもの事故の有無 | |
| | 問20-2 | 事故の内容 | |
| | 問20-3 | 事故の原因 | |
| | 問21-1 | 京（みやこ）あんしん子ども館の利用の有無 | |
| | 問21-2 | 京（みやこ）あんしん子ども館の利用の有無利用による意識の変化 | |
| 問21-3 | 取り組んだ事故予防の内容 | | |
| 問22 | 子どもが寝返りできるまでの寝かせ方 | | |
| 飲酒・喫煙 | 問23 | 飲酒の有無及び飲酒している場合の量 | |
| | 問24 | 喫煙の有無及び喫煙している場合の量 | |
| | 問25 | 同居者の喫煙の有無及び喫煙している場合の量 | |
| | 問26 | 本人及び同居者が喫煙している場合の喫煙する場所 | |
| | 問27 | 飲食店等を利用する場合の禁煙施設・スペースの確認の有無 | |
| | 問28 | 受動喫煙防止に関する認識 | |
| 食生活・歯と口 | 問29 | 家族の食生活で実践していること | 修正 |
| | 問30 | 家族の食事作りで工夫していること | |
| | 問31-1 | 食事作りを楽しくできるかの認識 | |
| | 問31-2 | 食事作りが楽しくできない理由 | |
| | 問32 | 子どものアレルギーの有無 | 追加 |
| | 問33 | 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の有無 | |
| | 問34 | 母親の口や歯に関して気になること | |
| 問35 | 子どもの口や歯で知りたいこと、心配なこと | | |
| 問36 | 乳幼児虫歯予防対策（フッ化物歯面塗布）に関する認識 | | |
| 母子保健サービス | 問37 | 母子保健サービスの認知度・利用状況等 | |
| 京都市での出産・育児に対する気持ち | 問38 | 今後も京都市で出産や子育てを続けたいと思うか | |

青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査（案）

1 目的

13歳～30歳の青少年・若者（思春期を含む）の意識や生活状況について調査し、その把握を行うことで「京都市子ども・若者計画」や「京都市母子保健計画」の策定に係る基礎資料とする。

2 対象

市内在住の13歳～18歳とその保護者（5,000件）

” 19歳～30歳（4,000件）

3 方法

無作為抽出を行い、調査票を郵送

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

- 親子いきいき保健部会
平成30年6月21日開催
- 青少年育成に関する総合的支援をテーマとした共同部会（青少年活動促進部会、社会的困難を抱える青少年支援部会）
平成30年6月27日開催

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

- 親子いきいき保健部会
 - ・ 同性間の恋愛について問う設問があるが、「LGBTを受け入れることができるか」といった観点で設問を再考するべきではないか。
 - ・ いずれの回答の選択肢についても、ポジティブな質問項目がならんでいるが、「辛さ」や「ネガティブ」な感想を持っている青少年に該当する選択肢が必要ではないか。
- 青少年育成に関する総合的支援をテーマとした共同部会（青少年活動促進部会、社会的困難を抱える青少年支援部会）
 - ・ インターネットやSNSが主流となっているため、ゲームやメールといった文言は、今の青少年には馴染みがないのではないか。
また、インターネット等でトラブルに巻き込まれたことがあるかなどの把握が必要ではないか。
 - ・ 調査票の文言は13歳にも分かる表現にするべきではないか。
 - ・ 将来の夢や希望についての設問を入れるべきではないか。

5 調査項目（案）

次ページ参照

6 調査票（案）

調査票5-1及び調査票5-2

青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|--------------------|---------------------|--|-----------------|
| | 番号 | | |
| 基本事項 | 問1 | 性別 | |
| | 問2 | 年齢 | |
| | 問3 | 居住地域 | |
| | 問4 | 同居の状況 | |
| | 問5-1 | 【学生のみ】通っている学校 | 修正 |
| | 問5-2 | 【学生のみ】アルバイトをしているか | 修正 |
| | 問6 | 【学生以外】職業 | 修正 |
| 身近な人について | 問7-1 | 家族への感情・関わり | |
| | 問7-2 | 親は自分のことを理解していると思うか | |
| | 問8 | 友人との付き合いの状況 | 修正 |
| | 問9 | LGBTへの理解について | 追加 |
| 生活・居場所 | 問10 | 今の生活の満足度 | |
| | 問11 | 各場所・場面で感じる気持ち | |
| | 問12-1 | 休日を過ごす相手 | |
| | 問12-2 | 休日の過ごし方(理想と現実) | |
| | 問13 | 新しい知識や情報の入手方法 | |
| 地域活動への参加 | 問14-1 | この3年間で、学校や仕事以外で、地域の伝統行事、スポーツ大会、自然体験、美化活動等に参加したことがあるか | |
| | 問14-1 | 問14-1の設問で活動で今後参加してみたい活動はあるか | |
| | 問14-3 | 問14-1の設問で活動に参加して良かったと思うことは何か | |
| | 問14-4 | 問14-1の設問で活動の情報をどこで知ったか | |
| | 問14-5 | 問14-1の設問で活動に参加しなかった理由は何か | |
| 健康 | 問15 | 起床時間と就寝時間 | |
| | 問16 | 自分の生活リズム(起床時間、就寝時間など)に問題があると思うか | |
| | 問17 | 自分の健康についてどのように思うか | |
| | 問18 | ふだん運動をしているか | |
| | 問19-1 | ふだん朝食・夕食を食べているか | 修正 |
| | 問19-2 | 誰と食えることが多いか | 修正 |
| | 問20 | 現在の身長・体重と理想の体重 | |
| | 問21-1 | ダイエットをしたこと(している)があるか | |
| 問21-2 | ダイエットをした(している)理由は何か | | |
| 問21-3 | 健康について知りたいことはあるか | | |
| 気持ちや悩み | 問22 | 自身の感情や状況 | |
| | 問23 | どのような悩みや心配ごとがあるか | |
| | 問24 | 悩みや心配ごとがあるとき、誰に相談しているか | |
| 規範意識 | 問25 | 未成年の飲酒、たばこ、いじめ、暴力、違法薬物の利用等をどう思うか。 | |
| スマートフォンや携帯に関すること | 問26 | スマートフォンや携帯電話等の利用目的 | |
| | 問27 | 平日、1日にどのくらいスマートフォンや携帯電話等を利用するか | |
| | 問28 | スマートフォンや携帯電話等を利用し、嫌な思いをしたり、トラブルにまきこまれたことがあるか | |
| 喫煙に関すること | 問29-1 | たばこを吸ったことがあるか | |
| | 問29-2 | 初めてたばこを吸ったのは何歳か | |
| | 問30 | たばこが健康に及ぼす影響を学校などで学んだことはあるか | |
| | 問31 | 受動喫煙が健康に及ぼす影響を知っているか | |
| 性に関すること | 問32 | 性感染症で知っているものはあるか | |
| | 問33 | エイズやHIVについて知っていることはあるか | |
| | 問34 | 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ているか | |
| | 問35 | 性交についてどのように考えているか | |
| | | 同性間での恋愛についてどう思うか | 削除 |
| 小さな子どもと触れ合う機会・育児体験 | 問36 | 小さな子どもとふれあう機会があるか、又は過去にあったか | |
| | 問37 | 育児体験(ミルクを飲ませる、おむつをかえる、一緒に遊ぶなど)をしたいと思うか(したことがあるか)。 | |
| ライフデザイン | 問38 | 将来の結婚や子育てについてどう考えているか(既婚者又は子育て中の方はどう考えていたか) | |
| | 問39 | 将来の自分のライフデザイン(何歳ごろに結婚や出産をしたいか等)について考えているか(考えていたか) | |
| | 問40 | 医学的に妊娠しやすい時期があると言われていたことを知っていたか | |
| 「大人」「働くこと」への考え方 | 問41 | 「大人になる」とはどのようなことだと思うか | |
| | 問42 | 働く目的は何だと思うか | |
| | 問43 | 将来の夢や目標を持っているか | 追加 |

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|----------------------|---|---------------------------------|-----------------|
| | 番号 | | |
| 市政への興味・参加 | 問44 | 市政のどのような分野（環境、財政、文化、福祉等）に興味があるか | |
| | 問45-1 | 市政やまちづくりに関して意見を述べる機会があれば述べたいか | |
| | 問45-2 | 問45-1で「述べたいと思う」理由は何か | |
| | 問45-3 | 問45-1で「述べたいと思わない」理由は何か | |
| | 問46 | 京都に愛着があるか | |
| 子ども・若者を対象とした施設の利用状況等 | 問47 | 子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っているか。 | |
| | 問48-1 | 京都市青少年活動センターを利用したことはあるか。 | |
| | 問48-2 | （利用したことがある方に対して）利用している理由はなんですか。 | |
| | 問48-3 | （利用したことがない方に対して）利用しない理由はなんですか。 | |
| | | 青少年活動センターについて、どのような事業に参加してみたいか | 削除 |
| 問49 | 青少年活動センターでは、スタッフによる相談を行っているが、どのような相談をしてみたいか | | |
| 幼少期の状況について | 問50 | 自身が子ども（小学生）のとき、親に遊んでもらったか | |
| | 問51 | 自身が子ども（小学生）のとき、親に勉強を教えてもらったか | |
| | 問52 | 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会の有無 | |
| 可処分所得について | 問53 | 世帯1年間の可処分所得はいくらか（19歳から30歳のみ） | |
| 自由記述 | 問54-1 | 社会や大人に伝えたいこと | 修正 |
| | 問54-2 | 同世代の青少年に思うこと | 修正 |
| | 問54-3 | 京都市の青少年を対象とした取組に対する意見・要望 | 修正 |

青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査(保護者用)(案)

| | 番号 | 調査項目 | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|------------|-------------|-------------------------------|-------------------|
| | 回答いただく方について | 問1 | 子どもから見た回答いただく方の続柄 |
| 問2 | | 子どもから見た回答いただく方の年齢 | 追加 |
| 問3 | | 世帯構成 | 追加 |
| 問4 | | 子どもの両親の婚姻関係 | 追加 |
| 問5 | | 子どもの両親の就労状態 | 追加 |
| 子どものことについて | 問6 | 学校での成績について | |
| | 問7 | 子どもの登校状況 | 追加 |
| | 問8 | 塾や習い事に通っているか | 追加 |
| | 問9 | 子どもに進学をしてほしいと思っているか | 追加 |
| | 問10 | 子どものために充実してほしい支援 | |
| 暮らしの状況 | 問11 | 子どもと学校や生活状況について会話をする頻度 | |
| | 問12-1 | 子育てにかかる時間の優先度の考え方 | 修正 |
| | 問12-2 | 子育てにかかるお金の優先度の考え方 | 修正 |
| | 問13 | あなたの世帯の昨年の収入の合計額 | |
| | 問14 | あなたの世帯の昨年の可処分所得 | |
| 青少年施策について | 問15 | 青少年を取り巻く問題で関心のあること | 追加 |
| | 問16 | 行政施策や社会制度のあり方に関する希望及び意見(自由記述) | |

小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（小学校）（案）

1 目的

小学校児童の放課後における過ごし方を調査し、学童クラブ事業・放課後ほっと広場事業・放課後まなび教室（以下「学童クラブ事業等」という。）の利用実態や潜在的なニーズ、児童館事業の認知度を把握することにより、今後の各事業のあり方の検討材料とする。

2 対象

市立小学校1年生，4年生，6年生の全ての児童の保護者（約31,000件）

3 方法

各小学校を通じ調査票を配布し，郵送で回収

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

- 放課後対策をテーマとした共同部会（子どもの健全育成推進部会，教育環境づくり部会，支援を必要とする子どものための部会）

平成30年6月25日開催

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

- ・ 小学生の放課後の過ごし方は保護者の就労状況と関連しているため，就労状況を確認する質問が必要ではないか。
- ・ 保護者に対する調査であり，保護者がどれだけ子どもの行動を把握できているかが回答の正確性に影響するのではないか。
- ・ もし保護者のみが回答するのであれば，「分からない」といった回答の選択肢が必要ではないか。
- ・ 調査目的のひとつに学童クラブ事業や放課後まなび教室の利用についての実態把握が含まれるため，仕方ない部分もあるが，子どもの放課後の過ごし方について，もう少し選択肢を増やすべきではないか。
- ・ 自由記述欄が必要ではないか。
- ・ 保護者と子どもと一緒に回答できるよう子どもの考えを聞きながら保護者が回答できるような方法を検討する必要があるのではないか。

5 調査項目（案）

次ページ参照

6 調査票（案）

調査票 6 - 1 参照

小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査(市立小学校)(案)

| | 番号 | 調査項目 | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|-----------------------------|--------------|--|-----------------|
| | 子どもの放課後の過ごし方 | 問1-1 | 子どもと同居している家族 |
| 問1-2 | | 放課後に家にいる家族 | |
| 問1-3 | | 保護者の就労状況 | 追加 |
| 問2-1 | | 子どもが月曜日から金曜日の放課後どのような場所で過ごすか | |
| 問2-2 | | 【問2-1で自宅や公園等で過ごす子どものみ】だれと過ごしているか | 追加 |
| 問3 | | 習い事に通っている場合、通わせている理由 | |
| 京都市の学童クラブ事業について | 問4-1 | 【学童クラブ事業を利用している場合】 当該事業に対する要望 | |
| | 問4-2 | 【学童クラブ事業を利用していない又は以前利用していたが退会した場合】 当該事業を利用していない理由 | |
| | 問4-3 | 【学童クラブ事業を以前利用していたが退会した場合】 当該事業を退会した理由 | |
| 京都市の放課後まなび教室について | 問5-1 | 【放課後まなび教室を利用している又は1年生でこれからの利用を考えている場合】 当該事業に対する要望 | |
| | 問5-2 | 【放課後まなび教室を利用していない場合】 当該事業を利用していない理由 | |
| 京都市の学童クラブ事業と放課後まなび教室の併用について | 問6-1 | 併用して利用している(利用を考えている)理由 | |
| | 問6-2 | 併用に当たっての要望 | |
| 児童館(学童クラブ事業以外での利用)について | 問7-1 | 学童クラブ事業以外の児童館スペース開放やクラブ活動の認知 | |
| | 問7-2 | 【利用したことがある方】 利用した(している)理由 | |
| | 問7-3 | 【利用していない(したことがない)方】 利用しない理由 | |
| 放課後等デイサービスについて | 問8-1 | 利用している事業所を選んだ理由 | |
| | 問8-2 | 利用している事業所への要望 | |
| 自由記述 | 問9 | 放課後の過ごし方や居場所について、保護者が感じることや要望について | 追加 |
| | | 放課後の過ごし方や居場所について、子どもが感じることや要望について | 追加 |

小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査（総合支援学校）（案）

1 目的

総合支援学校に通う障害のある児童・生徒の放課後の過ごし方を調査し、就学児童のサービス利用における現状と課題、また放課後に必要とされるサービスの機能や役割について把握する。

2 対象

総合支援学校に通学する全児童・生徒の保護者（約 1, 250 件）

3 方法

総合支援学校を通じ調査票を配布し、郵送で回収

4 京都市はぐくみ推進審議会における意見聴取

(1) 当調査に関連する部会等の開催状況

- 放課後対策をテーマとした共同部会（子どもの健全育成推進部会，教育環境づくり部会，支援を必要とする子どものための部会）

平成30年6月25日開催

(2) 上記部会等における委員からの主な意見

- ・ 放課後等デイサービスの事業所について，利用者が能動的に選ぶことができない場合があるため，「希望している事業所に空きがなかった」，「空きがあった事業所を選んだ」といった選択肢が必要ではないか。
- ・ 保護者の就労状況を確認する設問について，就労していない保護者の中には，「働きたくても働けない」という方がいるはずなので，そのような方の状況が分かるような設問が必要ではないか。
- ・ 放課後等デイサービスについて，事業所によって送迎サービスの実施に差があるため，保護者のニーズを確認できるように，設問及び回答に送迎サービスに関する内容を盛り込むべきではないか。
- ・ 自由記述欄が必要ではないか。
- ・ 保護者と子どもと一緒に回答できるよう子どもの考えを聞きながら保護者が回答できるような方法を検討する必要があるのではないか。

5 調査項目（案）

次ページ参照

6 調査票（案）

調査票 6 - 2 参照

小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査(総合支援学校)(案)

| | 調査項目 | | 審議会等の意見を踏まえた変更点 |
|----------------|-------|--|-----------------|
| | 番号 | | |
| 基本事項 | 問1 | 子どもと同居している家族 | |
| | 問2 | 居住している地域(行政区等) | |
| | 問3 | 主に子どもの世話をしている保護者の就労状況 | |
| | 問4 | 子どもの障害者手帳の所持状況 | |
| | 問5-1 | 子どもの医療的ケアの有無について | |
| | 問5-2 | 医療的ケアに関する自由記述(不安点・要望) | |
| 子どもの放課後の過ごし方 | 問6 | 子どもが月曜日から金曜日の放課後どのような場所で過ごすか | |
| | 問7 | 【学童クラブ事業等を利用している場合】 当該事業を利用している理由 | |
| | 問8 | 【自宅で保護者と過ごしている場合】 誰とどのように過ごしているか。また、在宅サービスを利用しているか。 | |
| | 問9 | 【習い事に通っている場合】 習い事に通っている理由 | |
| 放課後等デイサービスについて | 問10-1 | 【利用している方】 利用している事業所を選んだ理由 | |
| | 問10-2 | 【利用している方】 利用している事業所への要望 | |
| | 問10-3 | 【利用していない方】 利用希望はあるか | 追加 |
| | 問10-4 | 【問10-3で利用希望がある場合】 利用していない理由 | |
| 自由記述 | 問11 | 放課後の過ごし方や居場所について、感じることや要望について | 追加 |

現プラン策定時

京都市未来こどもはぐくみプラン

※ 調査人数は全て平成25年度実施時のもの

- (1) 京都市子育て支援に関する市民ニーズ調査
 - 市内在住の小学校入学前児童の保護者（6,500件）
 - 〃 小学生の保護者（6,500件）
- (2) 京都市結婚と出産に関する意識調査
 - 市内在住の18歳から49歳までの市民（6,500件）
- (3) 京都市ひとり親家庭実態調査
 - 市内在住の母子世帯（3,200件）
 - 〃 父子世帯（1,800件）
- (4) 京都市母子保健に関する意識調査
 - 一定期間に乳幼児健康診査（4か月児, 8か月児, 1歳6か月児, 3歳児）を受診した児童の母親（4,332件）
- (5) 京都市思春期に関する意識調査
 - 13歳以上19歳以下の市民（5,000件）

はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプラン

- (6) 京都市青少年意識行動調査（平成21年度実施）
 - 13歳以上30歳未満の市民（1,800件）

京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画

- (7) 京都市子どもの生活状況等に関する調査（平成28年度実施）
 - 0歳以上18歳未満の子どもがいる世帯（18,000件）
 - 子どもがいる生保家庭及び児扶手受給世帯（600件）

調査名の変更

新計画策定時

前回の調査をベースに実施する調査

- ① 子育て支援に関する市民ニーズ調査
 - 市内在住の小学校入学前児童の保護者（6,500件）
 - 〃 小学生の保護者（6,500件）
- ② 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査
 - 市内在住の18歳から49歳までの市民（6,500件）
- ③ ひとり親家庭に関する実態調査
 - 市内在住の母子世帯（3,700件）
 - 〃 父子世帯（1,300件）
- ④ 母子保健に関する意識調査
 - 一定期間に乳幼児健康診査（4か月児, 8か月児, 1歳6か月児, 3歳児）を受診した児童の母親（約4,000件）

見直しを行った上で実施する調査

- ⑤ 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査
 - 市内在住の13歳～18歳がいる家庭（5,000件：2,500世帯×2件）
 - ※ 対象となる家庭（2,500世帯）に本人用と保護者用の調査票を送付
 - 市内在住の19歳～30歳（4,000件）
 - ※ 共通項目と年代別項目で構成
 - ※ 別途、関係団体を通じたヒアリング調査を実施（ひきこもり等）

新たに実施する調査

- ⑥ 小学生等の放課後の過ごし方に関する実態調査
 - 市立小学校に通学する1年生, 4年生, 6年生の保護者（約31,000世帯）を対象に実施
 - 市立総合支援学校に通学する児童・生徒の保護者（約1,250世帯）に実施

「京都市子どもの生活状況等に関する調査」の調査項目の活用
当該調査項目を①から⑤の調査の中に新たに追加し実施する。

- ※ 平成28年度に実施した前回調査より幅広い世代, 家庭に対して調査を実施できる。
- ※ 今後, 5年ごとの計画策定時に継続して調査を行うことで経年変化を捕捉

新計画の策定に向けた調査一覧

| 調査内容 | ①子育て支援に関する市民ニーズ調査 | ②家族や家庭生活のあり方に関する意識調査 | ③ひとり親家庭に関する実態調査 | ④母子保健に関する意識調査 | ⑤青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査 | ⑥小学生等の放課後の過ごし方に関する調査 |
|-------------------------------|--|--|---|---|--|--|
| 対象 | 小学校6年生以下の児童の保護者のうち、住民基本台帳及び外国人登録者 | 18歳以上49歳未満の市民のうち、住民基本台帳及び外国人登録者 | 配偶者がいない市民で20歳未満の子がいる世帯のうち、住民基本台帳及び外国人登録者 | 乳幼児健康調査(4か月児, 8か月児, 1歳6か月児, 3歳児)に来所した母親 | ア.市内在住の13歳～18歳とその保護者 イ.市内在住の19～30歳 | ア.市立小学校1年生, 4年生, 6年生の全ての児童の保護者 イ.総合支援学校に通学する全児童・生徒の保護者 |
| 調査件数 | 無作為抽出した 小学校入学前 6,500人 小学生 6,500人 | 無作為抽出した6,500人 | 無作為抽出した 母子家庭 3,700件 父子家庭 1,300件 | 期間中に受診した約4,000人 | ア.無作為抽出した5,000件(2,500世帯の子どもと保護者) イ.無作為抽出した4,000件 | ア.約31,000世帯 イ.約1,250世帯 |
| 設問数 | 小学校入学前 94問 小学生 65問 | 68問 | 82問 | 50問 | 本人用 71問 保護者用 17問 | ア 19問 イ 15問 |
| 主な調査項目 | 世帯状況 就労状況 生活状況等に関する調査に係る調査項目 保育園・認定こども園・幼稚園等の利用状況 病児・病後児の対応 一時預かり 地域の子育て支援 職場との両立支援 等 | 世帯状況 生活状況等に関する調査に係る調査項目 少子化について 結婚について 出産について 真のワーク・ライフ・バランスの実現について 等 | 家族の状況 ひとり親家庭になったときの状況 仕事の状況 生活状況等に関する調査に係る調査項目 住まいの状況 収入と生活費の状況 離婚の状況 育児・教育について 子どもや近所の人等との関係について 日頃の悩みや相談相手 等 | 基本属性 生活状況等に関する調査に係る調査項目 母親の就労状況 現在の体調 妊娠・出産 子育て 父親の育児参加 喫煙と健康への意識 歯科に関する意識 少子化対策のための取組 等 | 基本属性 家族との関わり 生活状況等に関する調査に係る調査項目 友人関係 居場所 地域への参加 健康 規範意識 ライフデザイン 市政への興味・参加 子ども・若者を対象とした施設 | 世帯状況 子どもが放課後に過ごす場所 習い事 学童クラブの利用 放課後まなび教室の利用 放課後デイサービスの利用 障害の有無 医療的ケアの有無 等 |
| 調査審議する部会 ※主として下線の部会が検討 | ○子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会 ○親子いきいき保健部会 ○幼保推進部会 ○子どもの健全育成推進部会 ○教育環境づくり部会 ○青少年活動促進部会 | ○子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会 ○親子いきいき保健部会 ○青少年活動促進部会 | ひとり親家庭支援部会 | 親子いきいき保健部会 | ○子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会 ○親子いきいき保健部会 ○教育環境づくり部会 ○青少年活動促進部会 ○社会的困難を抱える青少年支援部 ○「青少年育成に関する総合支援」をテーマとした共同部会 | ○子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会 ○子どもの健全育成推進部会 ○教育環境づくり部会 ○青少年活動促進部会 ○支援を必要とする子どものための部会 ○「放課後対策」をテーマとした共同部会 |

新計画の策定に向けた調査（対象年齢での比較）

